

【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。
 ※1 1バンク運用のため1バンク設備容量を記載
 ※2 3バンク運用のため1バンク故障時を考慮し2バンク分の容量を記載
 ※3 4バンク運用のため1バンク故障時を考慮し3バンク分の容量を記載
 ※4 1バンク故障時の電源抑制や系統切替を前提に時間を限定して使用できる設計上の熱容量を考慮
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。
 #1 基幹系ループ系統のため
 #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため
 #3 配電用変電所のため(高圧電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高圧系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開しておりません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

2020年3月13日 更新

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
FSS 001	金津	77	6.6	3	57	47	熱容量	16	16	不可 #3	—	
FSS 002	芦原	77	6.6	2	38	24	熱容量	6	6	不可 #3	—	
FSS 003	三国	77	6.6	2	38	24	熱容量	3	3	不可 #3	—	
FSS 004	臨港	77	6.6	3	57	47	熱容量	9	0	不可 #3	—	
FSS 005	丸岡	77	6.6	3	52	41	熱容量	16	16	不可 #3	—	
FSS 006	春江	77	6.6	3	48	35	熱容量	16	16	不可 #3	—	
FSS 007	西長田	77	6.6	2	38	24	熱容量	19	19	不可 #3	—	
FSS 008	北庄	77	6.6	2	33	18	熱容量	13	13	不可 #3	—	
FSS 009	松岡	77	6.6	2	33	18	熱容量	13	13	不可 #3	—	
FSS 010	山王	77	6.6	2	19	12	熱容量	9	8	不可 #3	—	
FSS 011	開発	77	6.6	3	76	59	熱容量	22	22	不可 #3	—	
FSS 012	東福井	77	6.6	3	67	47	熱容量	21	21	不可 #3	—	
FSS 013	中福井	77	6.6	2	57	35	熱容量	32	32	不可 #3	—	
FSS 014	北福井	77	6.6	3	62	41	熱容量	16	16	不可 #3	—	
FSS 015	春山	77	6.6	2	57	35	熱容量	32	32	不可 #3	—	
FSS 016	橋南	77	6.6	2	48	24	熱容量	21	21	不可 #3	—	
FSS 017	南福井	77	6.6	2	57	35	熱容量	31	31	不可 #3	—	
FSS 018	花堂	77	6.6	2	38	24	熱容量	21	21	不可 #3	—	
FSS 019	東郷	77	6.6	2	19	12	熱容量	8	0	不可 #3	—	
FSS 020	成和	77	6.6	2	38	24	熱容量	21	21	不可 #3	—	
FSS 021	小和清水	33	6.6	1	6	6	熱容量	4	4	不可 #3	—	
FSS 022	足羽	77	6.6	1	10	10	熱容量	9	9	不可 #3	—	
FSS 023	勝山	77	6.6	2	48	24	熱容量	20	8	不可 #3	—	
FSS 024	荒土	77	6.6	2	38	24	熱容量	18	8	不可 #3	—	
FSS 025	友江	77	6.6	3	52	41	熱容量	16	16	不可 #3	—	
FSS 026	大野	77	6.6	1	19	19	熱容量	21	5	不可 #3	—	
FSS 027	和泉	154	6.6	1	10	10	熱容量	3	3	不可 #3	—	
FSS 028	神明	77	6.6	3	67	47	熱容量	19	0	不可 #3	—	
FSS 029	新武生	77	6.6	2	38	24	熱容量	21	0	不可 #3	—	
FSS 030	鯖江	77	6.6	3	48	35	熱容量	16	0	不可 #3	—	
FSS 031	水落	77	6.6	2	38	24	熱容量	20	0	不可 #3	—	
FSS 032	西田中	77	6.6	3	57	47	熱容量	20	0	不可 #3	—	
FSS 033	織田77/6kV	77	6.6	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #3	—	
FSS 034	織田77/22kV	77	22	2	33	18	熱容量	15	0	不可 #3	—	
FSS 035	西武生	77	6.6	3	67	47	熱容量	19	0	不可 #3	—	
FSS 036	王子保	77	6.6	2	38	24	熱容量	22	0	不可 #3	—	
FSS 037	湯尾	77	6.6	2	29	12	熱容量	11	0	不可 #3	—	
FSS 038	粟田部77/6kV	77	6.6	2	33	18	熱容量	16	0	不可 #3	—	
FSS 039	粟田部77/22kV	77	22	1	19	19	熱容量	19	0	不可 #3	—	
FSS 040	敦賀	77	6.6	3	52	41	熱容量	17	0	不可 #3	—	
FSS 041	西敦賀	77	6.6	2	38	24	熱容量	21	0	不可 #3	—	
FSS 042	南敦賀	77	6.6	2	38	24	熱容量	21	0	不可 #3	—	
FSS 043	持越	33	6.6	1	6	6	熱容量	5	4	不可 #3	—	
FSS 044	蒲生	22	6.6	1	7	7	熱容量	7	0	不可 #3	—	
FSS 045	宮崎配電塔	22	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	
FSS 046	白山配電塔	22	6.6	1	6	6	熱容量	4	0	不可 #3	—	
FSS 047	米ノ浦配電塔	22	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	
FSS 048	四ツ杉配電塔	22	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	
FSS 049	道口配電塔	22	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	
FSS 050	足羽77/33kV	77	33	1	6	6	熱容量	4	4	不可 #2	—	